

「三栄です」はいつもお世話になっております

三栄です

古紙の分別に更なるご理解とご協力をお願いします

前月号でも触れましたが、古紙相場は中国の環境対策を名目にした輸入規制の影響を受けて暴落し、国内の製紙会社の在庫もあふれている状況になっております。

昨年、国内の新聞古紙が不足しているため、組合で欧米の新聞をテスト輸入をしたところ、新聞2割、段ボールや雑誌などその他の古紙が4割、残りの4割はごみだったそうです。なぜこんなことになるかというと、欧米ではごみと資源を混合で収集し、後で選別をする方式のため、分けきれなかつたごみが混ざってしまうのです。日本では市民の皆様分別を徹底して頂き、それを分別収集しているため品質が大

変良く、問題はないのですが、ごみ交じりの欧米品同様に輸入規制の対象にされています。

もつとも、当社で回収したものは100%国内の製紙会社に納入しておりますので、これまで通り問題なくリサイクル出来ますが、今後国際的な品質基準が変更、強化されることは考えられます。

繰り返しのお願いで恐縮ですが、引き続き古紙の分別の徹底をお願い致します。分別の説明会も承りますのでお気軽にご相談下さい。

集団資源回収団体の皆様の表彰推薦をさせて頂きました(アルミ缶リサイクル協会・公益財団法人古紙再生促進センター)

今年も当社が回収をさせて頂いている集団資源回収団体の皆様の表彰を

第49号 発行元

株式会社 三栄サービス
東村山市久米川町 1-16-5
発行人 紺野琢生



IPSuS 0002394

推薦させて頂きました。

まず、アルミ缶リサイクル協会の平成29年度アルミ缶一般回収協力者表彰団体として、東大和子ども劇場様を推薦させて頂きました。この表彰は、基準となる回収実績(年数や回収量)を満たす団体を当社のような回収拠点の推薦に基づいて同協会が表彰を行っているものです。一般回収協力者の他に学校推薦などがあります。去る平成30年2月16日にLEVELEX X I 東京會館にて表彰式が開催されました。当日はアルミ缶リサイクル協会の富永理事長から関東各地の推薦団体の皆様表彰状と記念品が授与されました。式典の後に行われた懇親会はもちろんアルミ缶の飲料で乾杯をしました。



次に、公益財団法人古紙再生促進センターの集団資源回収感謝状贈呈式として、都営富士見住宅自治会様を推薦させて頂きました。こちらは、古紙センターの関東地区委員会が一定の推薦基準を満たした団体に対し毎年感謝状を交付しているものですが、今回は特にGPSによる古紙持ち去り追跡調査に協力している自治体に対し、関東製紙原料直納商工組合から推薦依頼があり、東多摩再資源化事業協同組合から2団体推薦することになりました。去る2月22日にホテルグランドパレス



にて感謝状贈呈式が開催され、古紙センターの田口専務理事より各団体の皆様に感謝状と記念品が授与されました。

両団体とも、長年にわたり集団資源回収に取り組まれ、環境保護と地域コミュニティの形成に多大なる貢献をして来られました。今後とも限りある資源の有効活用と地域の元氣のために頑張ってくださいたいと思います。勿論弊社もご協力させて頂きます。改めましてこの度の受賞、おめでとうございました。そして、表彰式まで足を運んで頂きありがとうございました。